

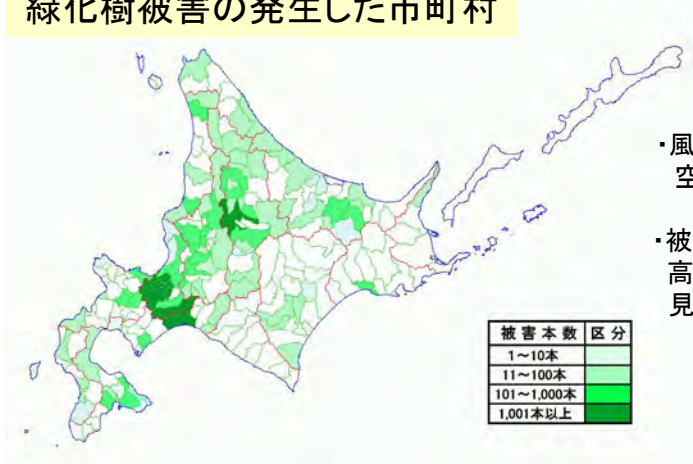
台風18号と緑化樹被害

台風18号の風の強さ



・石狩・留萌・網走支庁館管内の沿岸部及び空知支庁管内で広範囲に強い風が記録された。

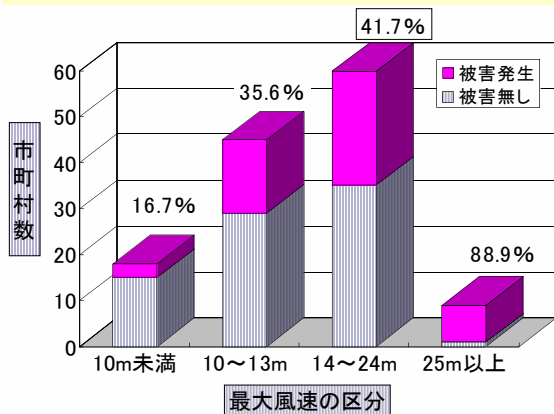
緑化樹被害の発生した市町村



・風による被害は、石狩低地帯から空知の平野部に集中的に発生した。

・被害率は最大風速が大きくなるほど高くなり、小さくなると低くなる傾向が見られた。

各市町村最大風速別被害発生の有無

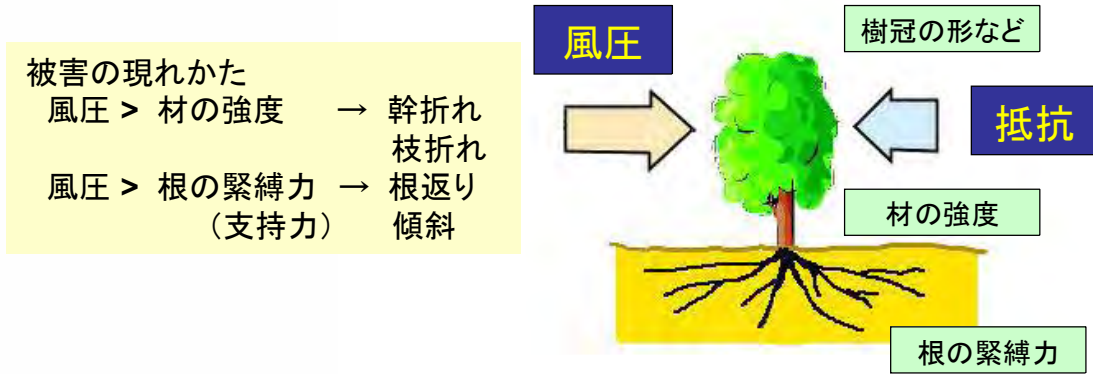


最大風速が大きくなると街路樹の被害が発生した市町村数の割合が高くなっていった。

緑化樹被害の概要

項目	公園樹	街路樹
被害本数	23, 522本	11, 992本
被害発生支庁	13支庁	13支庁
被害発生市町村数	98市町村	69市町村

緑化樹被害の形態



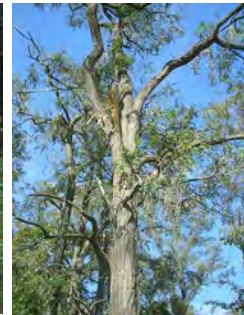
根返り



傾斜



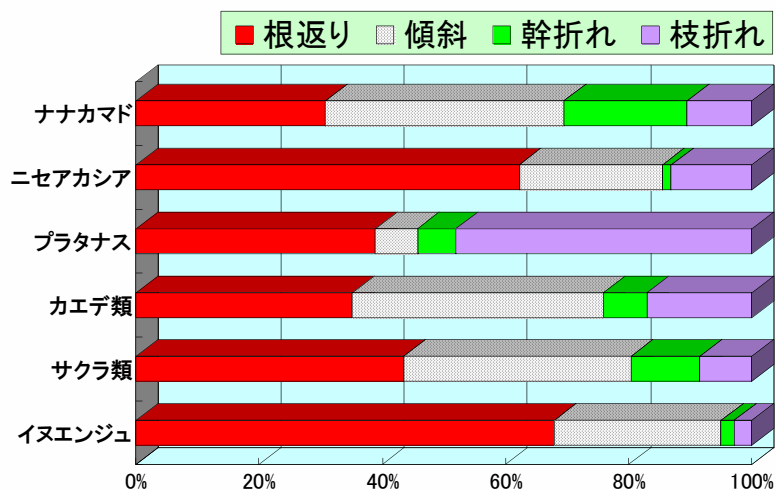
幹折れ



枝折れ

街路樹で被害本数が多かった樹種の被害形態

樹種によって被害形態に違いが見られ、ニセアカシア、イヌエンジュは根返りが最も多く、ナナカマド、カエデ類、サクラ類は根返りと傾斜がほぼ同じ割合であった。



被害を増大させた誘因

根系の生育空間の制限



地中の土管によって根系の発達が阻害され、根返りした



狭小な石張りの植樹升により、根系の発達が阻害され、根返りした

幹部への傷害と腐朽



除雪時に傷ついた幹



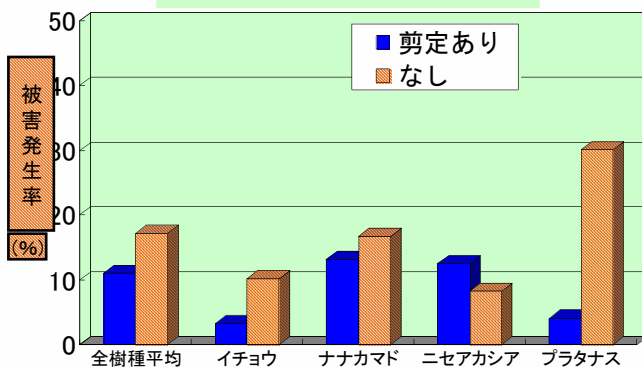
傷から腐朽が広がる



幹折れにつながる

剪定の不備

剪定の有無と被害発生率



・剪定を行うと被害発生率が低く、とくにプラタナスでは大きな効果があった。

・ニセアカシアは剪定しても成長が旺盛なためにすぐに剪定前の大きさにもどってしまうために効果がなかったと思われる。